

学年だより



釜ヶ淵小学校 第6学年
令和2年7月1日

学校が再開し、1ヶ月が経ちました。子供たちは、暑さにも負けず、元気いっぱい活動しています。最近、「絆プロジェクト第1弾【ひとりでも】」を始めました。これは、6月初めに話し合った、卒業する時の目標の姿に向かうため《自分のため》、学校生活をよりよくするため《みんなのため》に、自分にできる小さなことを1人で続けようというプロジェクトです。Tさんは、毎日先生全員にあいさつをすることにしました。Iさんは、毎日10本草を抜くと決めました。Yさんは、毎日折り鶴を1羽ずつ折って階段の踊り場に飾っていています。することは様々ですが、一人一人の願いが行動に表れています。「絆」というスローガンを具体的な行動で表し、実感していくことで、本当につながりのある「絆」を目指してほしいです。

じゃがじゃが戦隊！芋掘るんジャー！

4月に、ジャガイモを植えてから、3カ月ほどたちました。野菜作り名人J先生に「そろそろ芋ほってもいいんじゃないか」と助言をいただき、朝のトレーニング後にJ先生、Yさん、Nさんと一緒に畑を見に行きました。するとNさんが、「あれ、トマトがある」とびっくりしたように教えてくれたので、見てみると、そこにはジャガイモの苗のはずなのに、トマトのような実になっていたのです。思い出したように「ジャガイモとトマトって同じ種類なんだ」とYさんが話し始めました。というのも、4月の種芋植えの時に、J先生から、ジャガイモと同じ種類の野菜の話や一緒に植えない方がいい野菜の話を聞いていたからです。聞いているだけでは、小さな驚きで終わるけれど、実際に見ると大きな驚きになると同時にもっていた知識が本物になるのだと感じました。



そして、次の日みんなで芋ほりをしました。「わあ、でっかい！！」「こんな変な形があったよ」と嬉しそうに話す子供から「小さいのしかありません。」と残念そうに話す子供など、様々でしたが、一生懸命、土に向かい掘る姿は無邪気でかわいらしく感じました。そして、芋を掘り終わると、「何して芋を食べる？」「私は、のり塩ポテトにするよ。」「やっぱ、ポテトサラダでしょ」「いやいや、肉じゃがでしょ」など、とても盛り上がりました。みんなで育てたジャガイモが、美味しい料理になるのが楽しみです。

むらから国へ！社会は、歴史編へ

社会は、政治・国際編から歴史編に入りました。毎回授業の初めには、歴史人物クイズをして、少しずつ顔と名前を覚えてきました。子供たちが、覚えた歴史人物の中でとうとう教科書に登場した人物がいます。それは、卑弥呼です。初めての歴史人物に、「きた！！」「卑弥呼！」と声が上がりました。せっかくなので、卑弥呼の秘密についてインターネットを使って調べることにしました。調べていくと、卑弥呼のすごさが浮き彫りになってきました。あの大陸の中国と交流をしていたことや卑弥呼の世話をする者が1000人いたこと、卑弥呼のお墓は、古墳という大きな墓でたくさんのいけにえがいたこと等。卑弥呼の存在は、今後の古墳時代に繋がります。歴史上の登場人物の功績を知りながら、楽しく歴史を学んでいきたいと思います。



絆プロジェクト第2弾「みんなで」



絆プロジェクト第2弾は「みんなで」。7月1日、初めての縦割り活動が決定し、子供たちは、みんなの名前を覚えられるようにすることを目標にゲームを考えました。子供たちは、相談することもなく、一人黙々とゲームを考えていました。「同じゲームにしてもいいんだよ」と子供に言うと、「嫌です」と即答されました。協力したり応援し合ったりするのが得意な子供であるとは思っていましたが、それとともに自分の思いを自分なりの形にするアイディアマンだったようです。「十人十色」ならぬ、「八人八色」の子供たちを見ることができました。今回は、活動後の感想を1部紹介します。

今日の絆活動では、みんなが計画したことを楽しそうにしてくれてうれしかったです。少し騒がしい様子から「楽しんでくれているな」と感じ、ワクワクしました。また、それ以上の騒がしさになると、4年生の子が注意をしてくれて頼もしかったです。私も、見習って、今よりも楽しい時間を作りたいと思いました。

O・Hさん



みんなが楽しんでくれていて、とても良かったです。第2回目も楽しめるように、朝の草むしりの時間などに交流していきたいです。

N・Sさん